

今回は、英語教室を主宰する傍ら、専門学校や英語スクールの講師、大阪市内の小学校で英語活動の支援や教員研修など、多方面で活躍されているトレーナーからの実践報告です。

天野史子 さん



英語スタジオMOMO主宰
大阪外語専門学校(登録団体)非常勤講師。
ハートステップ・カレッジ(登録団体)講師
J-SHINEトレーナー資格保持者。

J-SHINE 通信

2013年8月号

■トレーナー資格を取得したきっかけ

大学卒業後、公立中学校で教師を経験した後、児童英語の世界に入りました。一度足を踏み入れたらその魅力にとりつかれるこの世界で30年近くの年月が経ちました。

1996年から専門学校で児童英語教育専攻の学生の授業を担当するようになり、子どもたちを教えるのとはまた違った魅力がある指導者育成にも携わるようになりました。ただ、まだそのころは指導者育成の資格といえるものが無く、暗中模索の毎日でした。

2003年にJ-SHINEが設立され、その後トレーナー資格ができ、「自分の仕事を一から見直そう」という思いでトレーナー検定試験の受験を決意しました。当初はトレーナーといってもどんな立場なのか理解して頂けず、活動する場も限られていましたが、“指導者の指導者”という立場が認知されるようになり、小学校英語活動がクローズアップされるようになると、小学校の教員研修の依頼が増えました。トレーナーとして活動を始めてから8年になりますが、その間に国内外のトレーナー資格保持者は100名を超えました。小学校英語活動において、また世界規模で活躍するトレーナーの活動の場が広がっているのを実感しています。

■現在の活動状況

現在は、主宰する英語教室でのレッスン、専門学校や英語スクールの授業を担当する傍ら、大阪市内の小学校で5、6年生の授業をサポートしています。担任の先生とティームティーチング(以下TT)、指導案作成のアドバイスなどもしています。1年生から6年生まで全学年にわたって関わることで児童の成長過程を肌で感じることができ、試行錯誤を重ねながら、楽しさを伝える英語活動に取り組んでいます。また、専門学校の学生たちには英語活動(1年生～4年生)の実習の場を提供してもらっていますが、その学生たちの指導をしています。大阪府下や兵庫県内の教員研修や小学校の校内研修を担当することもあり、研修での講師経験は現場の先生方の不安や具体的なニーズを、生で聞ける貴重な機会になっています。

*1 J-SHINE 創立10周年記念事業
<http://www.j-shine.org/anniversary.html>

*2 上級指導者資格
http://www.j-shine.org/kiyaku_s.html

■「フォローアップ研修講座」を開催して

2010年度からJ-SHINE主催フォローアップ研修講座に関わってきましたが、今年はJ-SHINE創立10周年記念事業*1のひとつとしてトレーナー主催のフォローアップ研修講座を8月末に神戸で開催しました。運営側の経験がなかったため、わからないことばかりで試行錯誤の連続、時には暗礁に乗り上げたりもしましたが、「体験的、実践的、コミュニケーションを通して学びや気づきのある講座」にしたいという願いを持って準備を進め、他地域のトレーナーや地元の上級指導者資格*2保持者などのスタッフの協力のおかげで無事終了することができました。

講座では、発音指導・小学校英語活動の基本・小学校の先生のお話とTTのデモンストレーション・10周年記念で出版された活動集を使っのTTの実習と、バラエティに富んだ内容を組み入れることができ、60名の参加者からも充実していたという声をいただきました。

今回の経験を通して小学校の先生、JTEとして活動されている方、民間の指導者、資格取得したものの指導経験のない方など、さまざまな状況の方々が、それぞれの立場でのブラッシュアップの場を必要とされていることを実感しました。同時にトレーナーの必要性も多種多様でありうるのだと考えるようになりました。

■今後の展望

フォローアップ研修講座を担当して、もう一つの大きな収穫は、トレーナーの繋がりを実感できたことです。さまざまな個性・信念・目標を持つトレーナーが協力し、この記念イベントを進めていくその輪の中にいられることに深く感謝しています。いろいろな場で活躍されている方たちと関われることは、大変刺激となり自己研鑽にもつながりますし、多種多様なトレーナーの役割の可能性を考えることができます。

トレーナーとしての自覚と責任を持ち、自分自身のブラッシュアップを図りながら、全国のトレーナーやJ-SHINEの資格保持者と連携し、今後の小学校英語活動の流れの中で、果たせる役割を見極めてしっかりと務めていきたいと思っています。